

日 退 教

事務局速報

日本退職教職員協議会

発行責任者 竹田邦明

14-4号 2014年6月20日

「集団的自衛権行使容認」許さず

今国会開会中の閣議決定はとりあえず見送らせる 引き続き行動を

「戦争をさせない全国署名」

175万筆（第1次集約）を提出（官邸受け取り拒否）

日退教は11545筆（現職等への集約をあわせ17902筆）

「戦争をさせない1000人委員会」は、3月から全国各地でとりくんできた「戦争をさせない全国署名」の第一次分、175万6368名分（日退教集約筆数は上記）を、6月12日に安倍首相と衆参両院に提出しました。衆院は赤松広隆副議長、参院は輿石東副議長に直接手渡しをしました。しかし、首相宛については、官邸での受け取りを拒否するという暴挙に、激しく抗議しました。

「戦争をさせない全国署名」に熱い賛同

北島義久 北海道退職教職員連絡協議会 76歳

6月12日、「戦争をさせない全国署名提出集会・国会包囲抗議行動」に参加した。

「ゆきばのない くやしきばかりかかえこむ 秘密保護法成立の日より」（朝日歌壇）。私はこの歌をよみ、くやしみをバネに署名にもとりくんだ。多くの反応があった。病身をおして町内をまわってくれた人。用紙を増し刷りしてとりくんでくれた人や切手を送ってくれた人。署名と一緒に「集団的自衛権行使を言う人よ、先ずみずからが武器とり給え」「慈しみ育てし我が子に銃をとれといづこの母が望むものは」等、怒りの心情を歌に託し送ってくれた人。「不穏な雲に覆われる政治と国際情勢、せめて光を開けるものとお届けします」「政権のやり方、本当に不安。腹が立ちます」「署名でとめられないとは思うけど」と送ってくれた人等。私はこうした返信に胸をあつくし元氣と勇気をいただいた。勿論署名をいただけない人もいたが、それでも本当にありがたいことに350筆を越える思いがとどけられた。また、署名活動の前に教え子から「先生を含め先達の一徹の念により、私たちの世代、戦争に行かずの人生でした。そして次世代も・・・」という便りが来て私の背中を押してくれた。9条の重さが骨身にしみた。そうだ。明治以来、半世紀以上にわたり一人も殺される戦争のない唯一の時代をささえたものこそ9条である。そしてささやかではあるがその一端をになったとの思いを強くした。

集会は超満員。三千の怒りがうづまいた。しかし、首相官邸は提出署名の受け取りを拒否した。この公僕たる首相が、主権者国民を足蹴にした態度こそ必ずや反対運動のもえさかる炎に油をそそぐ結果になるだろう。

（朝日新聞への投稿原稿（草稿）をいただきました。一部修正の上、6月19日声欄に掲載されました。——事務局）

同日の夜、日比谷野外音楽堂で集会を開き、市民など3000人が参加しました。(日退教参加者、関ブロ中心に約40名) アピールには、香山リカさん(精神科医)や、菅原文太さん(俳優)、も参加。「安倍政権の暴走を許さない。全国でさらに大きな運動を作っていく」と呼び掛けました。

集会後に、参加者は国会周辺に移動し、国会議事堂を取り巻いて、「集団的自衛権容認反対!」「安倍政権の暴走をとめよう!」「戦争はさせないぞ!」などと力強くシュプレヒコールをおこない、抗議しました。

署名は9月30日を第2次集約とし継続してとりくみます。



「戦争をさせない1000人委員会」連日の国会前行動

さらに、6月17日、20日は閣議の時間にあわせ、朝8時から官邸前集会。早朝にもかかわらず、2、300名が参加。官邸に向かって「立憲主義を破壊する閣議決定反対」とシュプレヒコールをおこないました。

当面の行動

東京・国会周辺での行動が中心です。各県域においては引き続き現地行動への参加、「戦争をさせない全国署名」の拡大のとりくみを要請します。

(下記の諸行動は関ブロ・事務局中心に参加します。)

1 「戦争をさせない1000人委員会」6.26 院内集会・官邸前抗議行動

日時 6月26日(木) 17時00分から
場所 衆議院第一議員会館1階・多目的ホール
講師 半田滋さん(東京新聞論説委員)
※集会終了後、18時30分から、官邸前抗議行動を行います。

※終了後移動して、官邸前での抗議行動を行います

2 閣議決定阻止!6.27 官邸前緊急行動

日時 6月27日(金) 9時30分から
※国会閉会中の閣議は10時頃行われません
場所 首相官邸前

4 閣議決定阻止!7.4 官邸前緊急行動

日時 7月4日(金) 9時30分から
場所 首相官邸前

3 「戦争をさせない1000人委員会」閣議決定絶対阻止!7.3 集会

日時 7月3日(木) 18時30分から
会場 星陵会館ホール
内容 (調整中)

5 「戦争をさせない1000人委員会」7.31 集会

日時 7月31日(木) 18時30分から
会場 日比谷図書文化館ホール
講師 浦田一郎さん(明治大学教授)
※終了後、官邸前での抗議行動を検討します